



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス  
 コード番号 3395 URL <https://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 難波 篤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡村 淳弘

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	21,914	19.8	2,709		126		5,741	
2021年3月期第2四半期	18,291	49.0	3,122		3,091		5,827	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 5,744百万円 ( %) 2021年3月期第2四半期 5,825百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	269.38	
2021年3月期第2四半期	273.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	48,254	31,525	65.3
2021年3月期	55,811	37,678	67.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 31,508百万円 2021年3月期 37,678百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		22.00		22.00	44.00
2022年3月期		22.00			
2022年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	11.4	2,700		2,400		4,500		211.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年11月11日)公表いたしました「2022年3月期第2四半期業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	22,777,370 株	2021年3月期	22,777,370 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,446,614 株	2021年3月期	1,474,372 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	21,312,216 株	2021年3月期2Q	21,303,108 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報 「参考資料」	12
(1) 仕入実績	12
(2) 販売実績	12
(3) 種類別販売実績	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令・延長が実施され、消費回復の足取りは重く、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止協力金等の支援制度はあるものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に係る各種要請により、大型商業施設に臨時休業や営業時間の短縮要請が出されるなど、通常営業が不可能な状態を余儀なくされる期間が長期化しました。また、新しい生活様式の実践による消費習慣の変化やテレワークの広がりもあり、外食への支出が抑制され、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、政府や各自治体からの営業時間短縮、酒類提供自粛の要請には社会的責任を果たすべく誠実に対応しながら、お客様に安心安全な環境を提供できる店舗づくりのため、飛沫感染防止対策の亚克力板設置、店舗での消毒・衛生の徹底、検温、マスク着用や手指消毒など感染防止対策を継続してまいりました。また、来店動機を喚起するため、季節に合わせたプレミアムなメニュー展開に取り組む一方で、不採算店舗を中心に業態変更や退店を実施するとともに、人件費や賃料等の固定費圧縮を継続し、損益分岐点売上高の引き下げに努めてまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店1店舗、生麺専門鎌倉パスタ直営店2店舗、神戸元町ドリア直営店3店舗、サンマルクカフェ直営店3店舗、フレンチチャイズ2店舗、計5店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店9店舗、フレンチチャイズ2店舗、合計11店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店819店舗、フレンチチャイズ店33店舗、合計852店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高219億14百万円（前年同期比19.8%増）、経常利益1億26百万円（前年同期経常損失30億91百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は57億41百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失58億27百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は115億61百万円（前年同期比16.3%増）、営業損失は11億88百万円（前年同期営業損失11億17百万円）となりました。

喫茶事業売上高は102億56百万円（前年同期比24.4%増）、営業損失は7億92百万円（前年同期営業損失13億24百万円）となりました。

当社の実験業態に係る事業であるその他事業売上高は97百万円（前年同期比7.2%減）、営業損失は64百万円（前年同期営業損失80百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は482億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して75億57百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は183億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億36百万円の減少となりました。これは主に売掛金が8億46百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は299億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して62億20百万円の減少となりました。これは主に減損損失の計上等により建物及び構築物が28億54百万円ならびに有形固定資産のその他が2億46百万円減少するとともに、繰延税金資産の減少等により投資その他の資産のその他が28億1百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は45億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億19百万円の減少となりました。これは主に買掛金が4億72百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は121億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億85百万円の減少となりました。これは主に社債が新株予約権付社債の発行により60億53百万円増加した一方、長期借入金が返済により72億円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して61億52百万円減少し、315億25百万円となりました。この結果、自己資本比率は65.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動の結果得られた資金は21億92百万円となり、この主なものは税金等調整前四半期純損失22億68百万円を計上した一方、減損損失23億50百万円及び減価償却費12億81百万円をそれぞれ計上したこと等によるものであります。投資活動におきましては3億10百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出3億92百万円等によるものであります。財務活動におきましては17億4百万円の資金を使用し、その主なものは長期借入金の返済による支出72億円ならびに新株予約権付社債の発行による収入60億56百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1億77百万

円増加し、151億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う政府や各自治体からの営業時間短縮、休業要請が想定以上に長期化したことにより、2022年3月期第2四半期累計期間の売上高、ならびに各段階損益とも当初計画を下回る水準で推移いたしました。下半期においては、緊急事態宣言解除に伴う行動制限の緩和、ならびにワクチン接種率の上昇による業績の回復を見込んでおりますが、上半期の業績の動向を踏まえ、2021年5月13日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 54,000	百万円 1,399	百万円 3,404	百万円 1,122	円 銭 52.67
今回修正予想 (B)	49,000	△2,700	2,400	△4,500	△211.05
増減額 (B - A)	△5,000	△4,099	△1,004	△5,622	—
増減率 (%)	△9.3	—	△29.5	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	43,987	△4,035	△3,623	△8,060	△378.39

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,015,996	15,193,052
売掛金	3,422,767	2,575,845
原材料及び貯蔵品	316,358	310,964
その他	901,015	237,729
貸倒引当金	△16,411	△14,701
流動資産合計	19,639,726	18,302,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,094,781	13,240,521
土地	3,894,354	3,894,354
その他(純額)	955,258	708,696
有形固定資産合計	20,944,394	17,843,572
無形固定資産		
その他	177,532	157,418
無形固定資産合計	177,532	157,418
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,883,750	8,585,438
その他	6,427,003	3,625,448
貸倒引当金	△260,752	△260,752
投資その他の資産合計	15,050,002	11,950,135
固定資産合計	36,171,928	29,951,125
資産合計	55,811,655	48,254,016
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,778,203	1,306,025
未払金	2,369,855	2,141,411
未払法人税等	530,465	464,230
引当金	83,327	79,790
資産除去債務	69,624	22,568
未払消費税等	16,314	240,670
その他	257,046	330,856
流動負債合計	5,104,838	4,585,552
固定負債		
社債	—	6,053,151
長期借入金	8,000,000	800,000
長期未払金	18,441	—
退職給付に係る負債	253,885	267,196
資産除去債務	4,505,435	4,506,855
その他	251,003	515,598
固定負債合計	13,028,766	12,142,802
負債合計	18,133,605	16,728,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,999	3,038,800
利益剰余金	36,480,336	30,247,600
自己株式	△3,579,108	△3,511,611
株主資本合計	37,671,404	31,505,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,644	2,888
その他の包括利益累計額合計	6,644	2,888
新株予約権	—	16,805
純資産合計	37,678,049	31,525,661
負債純資産合計	55,811,655	48,254,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	18,291,827	21,914,914
売上原価	3,986,601	4,892,207
売上総利益	14,305,225	17,022,707
販売費及び一般管理費	17,427,865	19,732,314
営業損失(△)	△3,122,640	△2,709,607
営業外収益		
受取利息	4,254	2,130
受取配当金	789	854
受取賃貸料	91,299	116,071
感染拡大防止協力金	—	3,023,906
その他	89,366	45,957
営業外収益合計	185,710	3,188,920
営業外費用		
支払利息	29,665	5,621
支払賃借料	74,141	96,377
社債発行費	—	220,308
その他	50,630	30,114
営業外費用合計	154,437	352,422
経常利益又は経常損失(△)	△3,091,368	126,890
特別利益		
助成金収入	883,059	247,406
特別利益合計	883,059	247,406
特別損失		
固定資産売却損	16,609	—
固定資産除却損	169,159	46,078
減損損失	3,505,672	2,350,219
貸倒引当金繰入額	128,231	—
繰上返済手数料	—	23,892
事業整理損失引当金繰入額	278,817	—
新型コロナウイルス感染症による損失	2,358,199	223,032
特別損失合計	6,456,690	2,643,223
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,664,999	△2,268,926
法人税、住民税及び事業税	280,438	448,752
法人税等調整額	△3,117,486	3,023,504
法人税等合計	△2,837,047	3,472,256
四半期純損失(△)	△5,827,951	△5,741,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,827,951	△5,741,182

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△5,827,951	△5,741,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,408	△3,755
その他の包括利益合計	2,408	△3,755
四半期包括利益	△5,825,543	△5,744,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,825,543	△5,744,938
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,664,999	△2,268,926
減価償却費	1,253,643	1,281,761
減損損失	3,505,672	2,350,219
賞与引当金の増減額(△は減少)	130,101	△3,537
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,855	13,310
貸倒引当金の増減額(△は減少)	126,607	△1,709
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	278,817	—
受取利息及び受取配当金	△5,043	△2,984
支払利息	29,665	5,621
助成金収入	△883,059	△247,406
固定資産除却損	169,159	46,078
固定資産売却損	16,609	—
繰上返済手数料	—	23,892
新型コロナウイルス感染症による損失	2,358,199	223,032
売上債権の増減額(△は増加)	△219,777	846,922
棚卸資産の増減額(△は増加)	42,296	5,498
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,716	△472,178
未払金の増減額(△は減少)	△428,734	△153,356
その他	△869,647	943,736
小計	△3,196,347	2,589,975
利息及び配当金の受取額	792	857
利息の支払額	△29,665	△5,621
助成金の受取額	883,059	247,406
繰上返済手数料の支払額	—	△23,892
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△2,089,947	△198,314
法人税等の支払額	△25,166	△418,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,457,274	2,192,352
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,158,579	△392,516
有形固定資産の売却による収入	95	—
投資有価証券の取得による支出	—	△25,000
無形固定資産の取得による支出	△57,489	△5,011
関係会社貸付けによる支出	△55,000	△15,000
資産除去債務の履行による支出	△94,580	△158,000
その他	159,606	285,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,205,946	△310,410
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	20,000,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△7,200,000
自己株式の取得による支出	△119	△229
配当金の支払額	△660,202	△468,225
新株予約権付社債の発行による収入	—	6,056,951
新株予約権の発行による収入	—	16,805
割賦債務の返済による支出	△180,738	△110,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,158,939	△1,704,885
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,495,717	177,056
現金及び現金同等物の期首残高	15,014,333	15,015,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,510,050	15,193,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、当社グループが運営するポイント制度について、従来は販売時に収益を認識しておりましたが、付与したポイントを履行義務として認識し、将来の失効見込み等を考慮して算定された独立販売価格を基礎として取引価格の配分を行う方法に変更しております。また、他社が運営するポイント制度にかかる負担金について、従来は総額を収益として認識し、負担金を販売促進費として計上しておりましたが、純額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は153,423千円減少し、販売費及び一般管理費は127,629千円減少し、営業損失及び税金等調整前四半期純損失は25,793千円増加し、経常利益は25,793千円減少しております。なお、期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(事業整理損失引当金繰入額の内容)

SAINT MARC USA INC.の店舗閉店に伴い発生すると見込まれる損失額を計上しております。

(繰上返済手数料の内容)

長期借入金の一部期限前返済を実施したことに伴う手数料であります。

(新型コロナウイルス感染症による影響)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、当第2四半期連結会計期間末における緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除に伴い、営業時間の短縮要請が段階的に緩和されている一方で、従来の生活様式の変化による在宅勤務の常態化などから外食機会の回復は未だ鈍く、消費動向の急速な回復は見込めないものと思われま

したがって、当社グループは、新型コロナウイルス感染症による影響が当連結会計年度末までに収束しないとの仮定のもと、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性に係る会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が想定以上に長期化した場合は、固定資産の追加的な減損などを通じて当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

四半期連結損益計算書に記載されている「助成金収入」は、新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等であります。また、「新型コロナウイルス感染症による損失」は、新型コロナウイルス感染症に伴う、休業中店舗の人件費、地代家賃及び減価償却費であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	レストラン	喫茶	その他 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,939,114	8,247,968	104,744	18,291,827	—	18,291,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,939,114	8,247,968	104,744	18,291,827	—	18,291,827
セグメント損失(△)	△1,117,750	△1,324,215	△80,753	△2,522,719	△599,921	△3,122,640

(注) 1. 「その他」セグメントは、実験業態に係る事業であります。

2. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△599,921千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」「その他」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで1,344,255千円、「喫茶」セグメントで1,962,682千円、「その他」セグメントで198,733千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	レストラン	喫茶	その他 (注)1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,561,231	10,256,488	97,194	21,914,914	—	21,914,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,561,231	10,256,488	97,194	21,914,914	—	21,914,914
セグメント損失(△)	△1,188,098	△792,318	△64,753	△2,045,171	△664,435	△2,709,607

(注) 1. 「その他」セグメントは、実験業態に係る事業であります。

2. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△664,435千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2021年4月1日付にて当社のチャイナ事業を会社分割し、当社子会社の(株)サンマルクグリルに承継したことに伴い、従来、「その他」に含まれていた同社の事業を「レストラン事業」の区分に含めております。

さらに、前連結会計年度から、「その他」に含まれている実験業態に係る事業について量的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」「その他」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで1,167,133千円、「喫茶」セグメントで1,143,930千円、「その他」セグメントで39,155千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 「参考資料」

前連結会計年度より、セグメント区分の変更を行っており、前期比較については、変更後の区分方法に組み替えたものによっております。詳細につきましては、前記「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## (1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	2,775,279	119.4
喫茶	2,087,701	130.6
その他	26,025	87.5
合計	4,889,006	123.7

## (2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	11,561,231	116.3
喫茶	10,256,488	124.4
その他	97,194	92.8
合計	21,914,914	119.8

## (3) 種類別販売実績

当第2四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	11,263,441	116.5	41,964	112.6	255,826	109.1	11,561,231	116.3
喫茶	10,074,939	124.1	15,295	144.6	166,253	138.0	10,256,488	124.4
その他	95,928	92.8	—	—	1,265	90.9	97,194	92.8
合計	21,434,309	119.8	57,259	119.7	423,345	118.8	21,914,914	119.8